



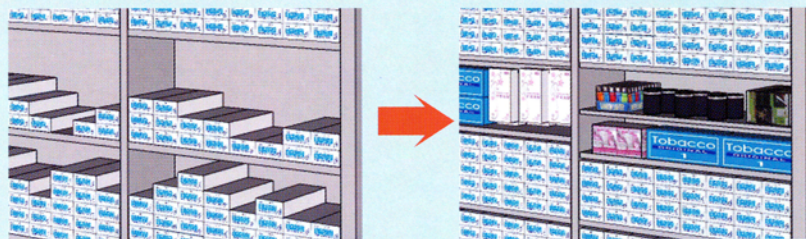
# 「思わず寄りたい」 お店づくりにチャレンジ【第7回】

## テーマ2: 什器編 その2 (在庫機能)

今回は、個装やカートンを効率的に収納できるだけでなく、『商品陳列』の要素も兼ね備えた“在庫機能”を持つ什器について考えてみましょう。

### 機能改善のポイント

- ・お客様から見えているにもかかわらず、無造作に並べていませんか？
- ・個装の在庫は、手早くお渡しできる効率的な機能になっていますか？
- ・什器棚の空間スペースを有効に活用していますか？



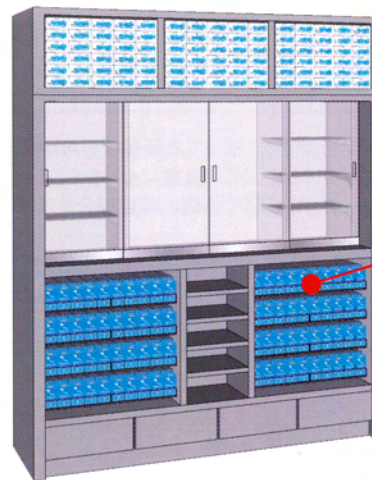
< 棚板固定型 >

< 棚板自在型 >

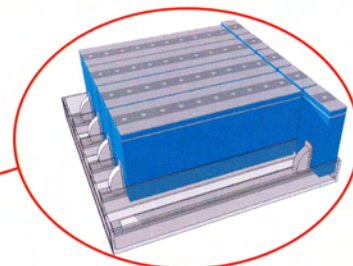
### バックケースに自在 (フレキシブル) 機能を持たせましょう！

棚板固定型の場合、左図のようにカートン在庫の減少により、部分的に空きが目立ってきることがあります。こんな時、棚板が自在型なら空き位置の調整や棚板の追加が可能です。品薄感を感じさせないために、空いたスペースにPRしたい新製品や小物を陳列してみましょう。カートンの銘柄を正面に向けて並べても、ボリューム感が出ます。

## ▼ ウィンドーケースの店内側



**限られたスペースを有効活用しましょう！**  
ウィンドーケースの店内側の上部に在庫を収納できるスペースを作りましょう。



### 個装用ディスペンサー ▲

ディスペンサー(スプリングで個装を手前に押し出す装置)を設置することにより、個装をガラス棚に直接並べるだけの方式に比べて、棚の奥まで手を伸ばす空間が不要となり、スペースを最小限に抑えることができます。その分、銘柄数を増やすことが可能です。



## ◀ 陳列型バックケース

店内に設置してある什器は、在庫用であっても、お客様の目に触れることが多いため、単に在庫を積み上げるだけではなく、個装陳列するスペースを設けるなどの工夫もしてみましょう。左写真の什器は、上部がライト付きの個装陳列スペース、下部がカートン収納になっています。